

15 愛知万博の成果

みんな、「モリゾー・キッコロ」って知ってる？そう、平成17年3月から9月までの185日間開催された「愛知万博」のマスコットキャラクターだよ！日本で開かれた万博でもっとも多い121の国々が参加して、2,205万人ものお客さんがこの愛知県の会場をおとすれました。わたしたち県内の小学生も見学に行きました。愛知万博から学んだことをまとめてみました。



© Japan Association for the 2005 World Exposition

ロボット

受付やそうじ、楽器をえんそうするロボットたちがいました。早くわたしのうちにも来てほしいな。

接客ロボット「アクトロイド」

愛知県内のすべての市町村で外国からのお客さまをおむかえしました。



国際交流

万博を担当した人の話

渥美町にドミニカ共和国のお客さまをしょう待したときのことで。渥美町の合唱クラブの人たちが、輪になって急にドミニカの国歌を歌い出しました。予定になかったことでみんなびっくりしましたが、ドミニカの人たちは感動して、涙をうかべながらいっしょに歌い出し、大合唱となりました。ドミニカの人たちは、「こんなに遠い国に来て、わたしたちの国歌を歌ってくれるとは思っていなかった」と言っていました。また、渥美町の人たちも、「喜んでもらえてよかった」とうれしそうでした。

※ 渥美町は平成17年10月に田原市となりました。

マンモス



1万年前に絶滅したマンモスが世界で初めて凍ったまま展示されました。環境の変化によって絶滅したといわれています。

会場で出た生ごみやペットボトルから電気をつくり出しているって係の人が言っていたわ。すごいね！

NEDO連携・新エネルギープラント▶



環境技術

毎日、500人以上のボランティアの人たちが会場やごみの分別の案内などの仕事をしました。



ボランティア

会場でボランティアをした友だちの話

ボランティア活動をして、人のやさしさにふれたような気がします。「ありがとう」という言葉はもともと好きでしたが、このボランティアをして、もっと好きになりました。

万博長久手会場は平成18年7月に「愛・地球博記念公園(モリコロパーク)」として生まれ変わりました。みんな遊びに来てね！

http://www.pref.aichi.jp/koen/AI_CHIKYU/ai-top.htm